

田んぼオーナー 田植え

和良の郷だより

鮎号

和良おこし
協議会発行



手植えと田舎料理を体験

6月5日(日曜日)、田んぼオーナー制度の「田植え」を手植えにて体験田んぼで開催しました。



(親子で笑顔を見せながら田植えを楽しむ参加者たち)
はじめましての方から、久しぶりにお顔を見られる方、みなさん笑顔でやって来てくれました。天気予報が雨だったり曇りだったりやきもきしましたが、当日はおだやかな良いお天気で、暑すぎず作業にはちょうどよかったです。小さい子供たちのなかには初めは田んぼに入るのを苦

今年は田んぼオーナー制度への参加組数が過去最高となりました。この日、田植えに参加いただいた方も100名を超え、いつもの体験田んぼが小さくみえる程でした。

手そうにしている子もいましたが、他の子どもたちを見て恐る足を入れはじめます。そのうちにすっかり平気になってはいりました。「この子は、今年初めて田んぼに入れたよ」



(田植えスタート！)



(植え方の説明をする岩出さん)

なんてお話される家族もありました。とにかく参加人数が多く、あっという間に体験田んぼに稲が植えられていき、予定していた時間を大幅に短縮して終了しました。トノサマガエルを見つけると大人も子どもも追いかけてこしながら捕まえて撮影。足が抜けなくなる、まわりのみんなは助ける前に大はしゃぎで撮影。転んだらすかさずみんながカメラを向けて撮影。こんな楽しい光景をやっと見ることができました。

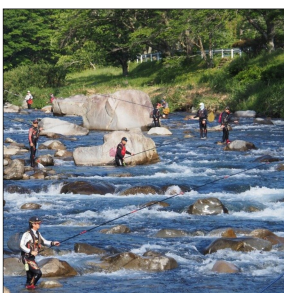


(朴葉ずしをペロリ)

田植えが終わったら、近くの水路で足を水洗いしたり、冷たい水で少し休憩です。まだまだはしゃぎ足りない子どもたちは走り回っています。大人たちも再会を楽しんだり、山の風景や田んぼのある景色を楽しんでくれたようです。お昼は2年ぶりの田舎料理体験で、この日のメニューは「朴葉ずし」。とは言っても、こんなご時世なのでほぼこちらで用意したものを楽しんでいただきました。なぜ朴葉を使うのかをご説明しながら、すし飯を配って、朴葉を選んでそれぞれが包んで食べます。和良産のオーガニックしいただけで出汁をとったすまし汁も味わっていただきました。参加者、スタッフの皆様、ありがとうございました。



(尻もち記念にピース)



(特別解禁初日の様子)

いよいよ始まった和良川の鮎釣りシーズンです。たくさんの方に楽しんでいただけたらと思います。特別解禁の様子はどうと、朝から和良川にすらすらと釣りが並んでいました。前日の雨で水量が増え、日が昇ると水温も上がってきました。10時頃までに約30匹を釣り上げた方もあり、お話を聞きながら引船をさせていただくと、サイズもまあまあ釣れます。お隣でも20匹ほどを釣り上げ、「今日はお祭りやね」と笑顔で話してくれました。そうはいつても場所によっては深いところもある様で、今後に期待するとのこと話もありました。

和良鮎解禁!!

今年の特別解禁は5月28日(土)と29日(日)、そして6月5日(日)より一般解禁となりました。

ゲンジボタル探検隊

6月17日(金曜日)の夜、12名の探検隊員を迎えての「ゲンジボタル探検隊」を開催しました。

まずは「わらおこし」に集合してスタッフ紹介と自己紹介と一人一言からです。お題の「もし蛍が話したら何を聞きたいか?」に対して、「どんな気持ちで飛んでいるの?」「や、蛍大好きな人からは「僕の事好き?」などと蛍への気持ちがあふれていました。



(蛍の話をお聞きする参加者たち) 良蛍を守る会(以下、守る会)から和良の紹介と和良蛍のお話を聞いていただきました。ゲンジボタルは環境のパロメーターと言われるように、水質と土壌

と空中(空間)の状態が悪くなると棲めなくなります。蛍の住む環境を人の手で汚してしまったり、ゴミで汚したり、街灯などの光で犯したりしてしまうのは人間です。そんなことを憂いながら環境保全に努めようと活動しているのが、守る会をはじめ和良町の住人です。守る会は人工的にカワナを放流したり、蛍を放流することは逆に生態系を壊してしまう事だと考え、そのようなことは行わずに生息地の環境保全に努めております。最後に蛍観察の注意事項をお伝えして、守る会のお話は終了です。

さて、次は昨年の「ヒメボタル探検隊」でも好評だった「蛍石」探しです。トレイに入った砂の中から宝物の蛍石を探し出します。蛍石は「笹洞フーライイト鋼業」のご協力で、特別に採取させていただいた蛍石です。笹洞フーライイト鋼業さんの跡地では、金山町の有志によって蛍石を採取するイベントも開催されています。トレイの中にはタミイもあつたり、なかなか本物を見つかるのに苦労があつて楽しそうです。見つけた蛍石は、和良蛍の代わりに連れて帰ってもらいました。



(蛍石を探す参加者たち) 駐車場は既に一般のお客さんで一杯になっていました。地域住民のみなさんと守る会のみなさんと駐車場のみなさんで駐車場誘導など行っていました。本当にご苦労

様です。全員揃ったところで、蛍が発生している観察地に歩いて向かいます。ホタルロードの薄明りを抜けると、辺りはすっかり暗闇に包まれています。さらに進んで行くと真っ暗闇の中、ホタルを見つけた一般のお客さんの歓声が上がっています。カメラマンもたくさん三脚を並べて撮影しています。探検隊の皆さんもホタルの乱舞に思わず声をあげて、口々に「綺麗だね〜」と言葉を交わしていました。探検隊の時間を終了しても、現地に残ったホタル鑑賞を楽しむ方もありました。

山を守る 川を守る

6月13日(月)、和良町土京地域の山で林業を営む「丸大産業株式会社」の新谷社長より多くの寄付をいただきました。贈呈式の際、新谷社長は和良川の保全のため、土京の山を守り、川を守りたいと話されました。そして、林業は現在大きく動く状況では無く、山林の保全には多額の資金がかかるが、長期的な展望をもって山と向き合っていきたいと話されました。

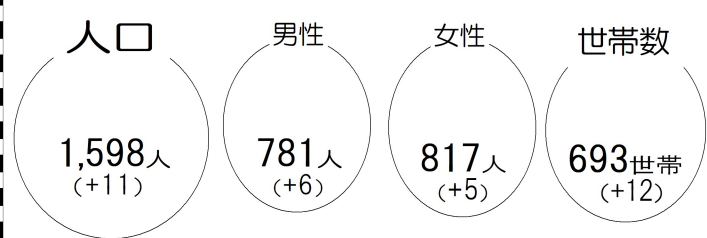


(丸大産業株式会社) 昨年度には土京地域の一般県道畑佐和良線から郡上新市道土京小川線に変更となり、道路の改善もみられています。この先も道路幅拡張なども予定されています。しかし、丸大産業

さんが管理されている山林は土京の最も奥に位置しているため、山林の取次道路までの整備がなされるのかも危惧されております。道路が維持されることで、山林の環境が守られ、川も守られ、暮らしも守られる。これは土京地区だけでなく、和良町全体も同じ状況だと考えられます。和良川漁業協同組合としても川だけでなく、水源地である山林の状況まで見守っていくことも大切かもわかりません。今後の活動や取り組みに関してレベルアップをしていきたいと思えます。

和良町の人口

令和4年6月1日現在 (カッコ内は前月比)



イベント掲示板

2022.7.17(Sun)14:00open, 14:30start
わらおこし：岐阜県都市和良町下洞5 5 4
千葉智寿&PETA

2022.7.23(Sat)14:00 Start
MusicCharge 投げ銭, Drink 持ち込み可
わらおこし：岐阜県都市和良町下洞5 5 4
福原誠 Live

初心者 鮎釣り教室
釣って食べて帰るの一日！
日本の和良鮎を釣ろう！
のびのび探検隊
7/21 木 22時
6/17 金 28時
8/27 土 29時

有機きのこの収穫体験！
とき：7月9日(土)9時45分集合
参加料：大人2,000円
申込：0575-77-2277まで